

神戸市の歴史的建造物調査

建造物研究室

この調査は、神戸市の依頼により、市内に所在する主として近世以前の民家・寺社の建造物の遺存状況を把握するために行ったものである。神戸市の民家・寺社建築の調査としては、昭和四十六・五十年年度の民家緊急調査、昭和五十三・五十四年度の近世寺社建築緊急調査、昭和五十一年度の神戸市古民家残存数分布基本調査がある。しかし前二者は兵庫県内全域を対象としたものであるため、市内の状況について十分に把握し得るほど詳細な調査が行われておらず、特に民家緊急調査に至っては報告書すら刊行されていない。また、後者についても相当数の調査が行われたようであるが、これも報告書が刊行されないまま、平成元年になってからそのごく概要が少数部発行されたに留まっている。各研究者が個別に行っている調査もあるようだが、市内の全体的状況を把握し得る形で報告はなされていない。従って、文化財未指定の寺社・民家建築がどの程度遺存しているかも明確ではなく、その保存対策も講じられてこなかった。

今回の調査は、当初市内全域を対象とする予定であったが、北区・西区に多数の茅葺民家が遺存することがわかったので、対象地区をこの両区に限り、対象とする建築も茅葺民家とそれに密接に関わりのある寺社に限定し、瓦葺の民家などは除外した。

調査対象となった北区・西区は六甲山の北に位置し、大きく二つの山塊があってその間の谷に沿って集落が営まれている。その集落形態は一様ではなく、西区や北区淡河町のように散村の形態をとる地区と、それ以外の地区のように谷筋に沿って集村となるものがある。

調査方法 西区・北区はあわせて379平方キロに及ぶ広さを持っている。この範囲の茅葺民家及び寺社建築を洩れなく拾い出すために、1/1000または1/2500の地形図と住宅地図を併用し、まず市の担当者が隈無く域内を歩いて茅葺民家及び寺社をプロットし、これに基づいて当研究所の所員にアルバイト学生二三人を加えて二チームを作り、一棟ずつ調査に入った。調査について所有者の承諾を取っているわけではないので（実際多数の家の承諾を取ることは不可能である。）、意図を告げて可能な範囲で写真を撮影し、観察と聞き取りによって平面の概要と建設年代を推定し、その上で規模・屋根形式・屋根葺材料・間取・建築年代・改造の程度・評価・所見を表形式の調査票に記入してゆくという方法をとった。以上の方法で十一回、三十三日、二チームなので延べ五十八日をかけて両区全域の踏査を終えた。

調査結果 両区内に1156棟の茅葺民家と326棟の寺社建築の存在を確認し、その資料を収集した。

まず民家についていえば、政令指定都市神戸市内に茅葺民家がかくも多数現存すると言うことは正に驚嘆に値すると言うべきであろう。全国的にも茅葺民家が激減してしまっている現在、この茅葺民家群は貴重な文化遺産である。もっともこれらすべてが茅葺のまま残されているわけではなく、多くはトタン板をかぶせ、軒先を切って棧瓦葺の下屋を付けてしまっている。しかし小屋組や古い茅葺屋根はトタン板の下に残されており、茅葺師が神戸市の北の吉川町にい

ることから、なお現在も茅の葺き替えが行われて茅葺屋根が維持されている。

この地域は既に知られているように、拱丹型と呼ばれる独特の妻入民家の分布する地帯であるが、別表に示すように、北区の東半部、長尾・道場・八田・有野には半数前後の妻入民家が集中的に分布するのに対し、これらより西の地区ではほぼ完全に平入民家だけが分布する地帯になってしまう。ただ妻入民家も一様な形態を持つのではなく、有野町南部を中心に分布するのは、所謂拱丹型とは異なる範疇に入ると見られる。

これら茅葺民家の建築年代は17世紀に遡ると推定されるものが6棟、18世紀に遡るものが90棟にも及ぶ一方、昭和に入ってから建築されたものも180棟弱にのぼり、昭和三十年代までは確実に近世以来の伝統的形態の茅葺民家が建築され続けていたことが判明した。近世中期以前の民家が多数残ることは貴重であるが、当初形態のまま残っていることは稀で、小屋組や一部の柱材が古いというものも少なくない。北区山田町には千年家として知られる室町時代に遡る茅葺民家である箱木家（重要文化財）があるが、古い部材を極力残すというこの地区の建築的伝統の中で千年家も遺ってきたものといえよう。

寺社建築では、寺院・神社の数はほぼ同じであるが、共に西区の方が少ない。これを面積の比率と対比すると、西区の方の寺社の密度が高いことになる。これは北区には山が多いことによる。建築年代は148棟が江戸時代に入り、その内23棟は17世紀、2棟は中世に遡ると見られる。神社では農村舞台または能舞台を伴うものが目立つ。これも東部と西部に分布が分かれており、農家の妻入りの分布と相俟って興味深いところである。

平成三年度はより詳細な調査を予定している。

(山岸常人)

表 地域別民家形式

山田町藍那の集落（平入）

有野町唐櫃の妻入農家